

広島県道路公社が管理する有料道路の収支等の状況について

道路企画課

1 要旨

広島熊野道路と安芸灘大橋有料道路の令和2年度の収支等の状況について報告する。

2 路線別収支等の状況

(1) 令和2年度収支状況

(単位：千円)

区 分	広島熊野道路	安芸灘大橋有料道路	摘要
道路料金等収入 (A)	355,372	551,612	R2年度日平均交通量(台) 8,382(広熊) 4,293(安芸灘)
管理業務費等費用 (B)	473,775	378,772	損失補てん引当金等を除く
特別法上引当金等繰入 (C = A - B)	△118,403	172,840	
償還準備金繰入 (D)	△150,132	124,121	
損失補てん引当金繰入 (E)	31,729	48,719	道路料金収入(税抜)の10%

(2) 令和2年度末時点償還状況

(単位：千円)

区 分	広島熊野道路	安芸灘大橋有料道路	摘要
有料道路事業費 (F)	8,100,000	11,000,000	
うち県出資金 (G)	2,475,000	3,850,000	
特別法上引当金等繰入累計 (H)	8,256,066	9,093,644	
償還準備金繰入累計 (I)	6,577,393	7,783,644	
損失補てん引当金繰入累計 (J)	1,678,673	1,310,000	道路料金収入(税抜)の10%
参 考			
R元年度末償還準備金繰入累計	6,727,524	7,659,523	
R元年度末損失補てん引当金繰入累計	1,646,944	1,261,280	

3 広島熊野道路の償還の完了

広島熊野道路は、令和2年12月5日の料金徴収期間満了後、料金所の撤去工事等を終えた令和2年度末において、固定資産の減価償却や除却損の会計処理を行った上で残った道路事業資産約80.2億円に対し、償還準備金約65.8億円と損失補てん引当金のうち約14.4億円を充当することにより、有料道路事業としての償還を完了した。また、県出資金については、令和2年度末までに全額返還を受けている。

なお、広島熊野道路の収支における損失補てん引当金の残額約2.3億円については、道路整備特別措置法等に基づく広島県道路公社の損失補てん引当金として引き続き管理される。

4 今後の予定

安芸灘大橋有料道路について、今後も利用促進を図りながら、着実な償還に向けて取組を進めていく。また、料金徴収期間の満了により、西部建設事務所と広島市に管理が引き継がれた広島熊野道路については、引き続き、無料開放後の周辺道路の交通状況を注視しながら、関係機関と連携して適切に対応していく。